

◆ シネマトーラス 上映スケジュール 2025年12月～2026年2月 ◆

【上映中の作品】 ◇ ～12/26(金) 君の顔では泣けない ◇ ～12/30(火) ネタニヤフ調査 汚職と戦争		当スケジュールを ご持参の方は1,500円で ご鑑賞いただけます。		星と月は天の穴 1/17(土)～1/30(金) 監督：荒井晴彦 出演：綾野剛 咲耶		2025年/2時間2分	小説家の矢添は、過去の離婚経験から女を愛することを恐れる一方、執筆する恋愛小説の主人公に自分自身を投影することで「精神的な愛の可能性」を探索するのが日課だった。ある日、画廊で偶然出会った大学生の瀬川紀子と、彼女の粗相をきっかけに奇妙な情事へと至り、矢添の日常と心が揺れ始める。	
君と私 12/20(土)～12/30(火) 監督：チョ・ヒョンチョル 出演：パク・ヘス キム・シウン	2022年/1時間58分			栄光のバックホーム 1/17(土)～1/30(金) 監督：秋山純 出演：松谷鷹也 鈴木京香	2025年/2時間15分		元阪神タイガースの横田慎太郎さんの自著『奇跡のバックホーム』を基にしたノンフィクション作品。将来を嘱望されながらも、21歳の若さで脳腫瘍を発症。過酷な闘病を経て引退試合で見せた「奇跡のバックホーム」は人々を驚かせ感動を呼んだ。だが、奇跡のドラマは、その後も続いていたのだった…。彼を支え続けた家族や仲間との絆を描く。	
ヒポクラテスの盲点 12/20(土)～1/2(金) 監督：大西隼	2025年/1時間50分			喝采 1/24(土)～2/6(金) 監督：マイケル・クリストファー 出演：ジェシカ・ラング キャシー・ベイツ	2024年/1時間50分		ブロードウェイの第一線で活躍してきた女優リリアン・ホールは、公演を間近に控えていた。ところが認知症を患っていることを告げられる。人生のすべてを舞台に捧げてきた彼女は、病気の事実を胸に押しとどめ、公演をやり遂げる決意をするが、現実と妄想の境目さえ曖昧に。はたしてフィナーレを飾る舞台に立つことができるのか…。	
兄を持ち運べるサイズに 12/27(土)～1/9(金) 監督：中野量太 出演：柴咲コウ オダギリジョー 満島ひかり	2025年/2時間7分			はだしのゲンはまだ怒っている 1/31(土)～2/6(金)予定 1週間限定上映！ 監督：込山正徳	2025年/1時間30分		不朽の反戦漫画『はだしのゲン』の誕生から現在を見つめるドキュメンタリー。広島県原爆で家族を失った少年ゲンの物語が、なぜ今も人々を熱くさせるのか、閲覧制限問題や平和教材からの削除といった議論、戦火の絶えない現代社会を背景に、作者・中沢啓治が遺した「怒り」と「願い」の真意を、関係者への取材を通して浮き彫りにする。	
ペンギン・レッスン 1/2(金)～1/16(金) 監督：ピーター・カッタネオ 出演：スティーヴ・クーガン ビビアン・エル・ジャバー	2024年/1時間52分			チャック・ベリー ブラウン・アンド・ハンサム・マン 1/31(土)～2/13(金) 監督：ロン・ワイズナー チャック・サイモン 出演：チャック・ベリー ザ・ビートルズ ザ・ローリング・ストーンズ	2020年/55分		ロックンロールの創設者で、人種や世代の壁を越え、後続のアーティストと文化・社会に圧倒的な影響を及ぼしたチャック・ベリーへのトリビュートとして、PBS(アメリカの公放送)のために制作されたドキュメンタリー。“あなたの音楽は俺たちの中に永久に刻まれている—ミック・ジャガー—”“偉大で純粋なロック作曲家—ブルース・スプリング・スティー—”	
Ryuichi Sakamoto:Diaries 1/2(金)～1/16(金) 監督：大森健生 出演：坂本龍一	2025年/1時間36分			ポンヌフの恋人 1/31(土)～2/13(金) 監督：レオス・カラックス 出演：ジュリエット・ピノシュ ドニ・ラヴァン	1991年/2時間5分		現代フランス映画界に燦然と輝く純愛映画の傑作。パリのポンヌフ橋を舞台に、天涯孤独で不眠症の大道芸人アレックスと、失恋の痛手と眼の奇病による失明の危機から自暴自棄になった画学生ミシェルが出会う。工事中の橋の上で、荒唐した日々を送りながらも激しく愛し合う二人の姿を、圧倒的な映像美と熱量で描き出した。	
WHO? 1/3(土)～1/16(金)予定 監督：なるせゆうせい	2025年/1時間40分			安楽死特区 2/7(土)～2/20(金) 監督：高橋伴明 出演：毎熊克哉 大西礼芳	2025年/2時間9分		今から数年後の日本。安楽死法案が可決した。国は実験的に「安楽死特区」を設置することに。回復の見込みがない難病を患ったラッパートと、そのパートナーのジャーナリストカッブル。安楽死法に反対のふたりは、特区の実態を告発するために入居を決意。明日、この国で現実起こるかもしれない世界観を描いた衝撃作。	
風のマジム 1/3(土)～1/16(金) 監督：芳賀薫 出演：伊藤沙莉 染谷将太	2025年/1時間45分			小屋番 ハヶ岳に生きる 劇場版 2/14(土)～2/27(金) 監督：深澤慎也 出演：菊地哲男(山岳写真家)	2026年/1時間25分		“コヤガタケ”と呼ばれるほどたくさんの山小屋が存在するハヶ岳。そんな日本百名山に選定された名峰の数々をもつ連峰を、山岳写真家の菊地哲男と巡っていく。小屋を営む道を選んだ人々。自然と真正面から向き合う過酷な日常を選んだ理由とは？“山”そして“命”を知る小屋番たちの言葉が、いまを生きるわたしたちの心をほどこしていく。	
手に魂を込め、歩いてみれば 1/10(土)～1/16(金) 1週間限定上映！ 監督：セビデ・ファルシ 出演：セビデ・ファルシ ファトマ・ハッスーナ	2025年/1時間53分			ダウントン・アビー/グランドフィナーレ 2/14(土)～2/27(金) 予定 監督：サイモン・カーティス 出演：ヒュー・ボネビル ローラ・カーマイケル	2025年/2時間4分		TVシリーズ開始から15年、ついに完結——20世紀初頭の英国貴族と使用人たちの人間模様を描いた大ヒットシリーズ。舞台は1930年のロンドン。長女メアリーの離婚スキャンダルが一家の名声を揺るがし、屋敷の存続危機が浮上する。伝統と変化の間で揺れるクローリー家が下す「最後の決断」とは。	
チャップリン 1/10(土)～1/23(金) 監督：カルメン・チャップリン 出演：マイケル・チャップリン ジョニー・デップ	2024年/1時間30分			黒の牛 2月中旬公開予定！ 監督：篤哲一朗 出演：リー・カンジョン 田中泯	2024年/1時間54分		今は昔、急速に変わりゆく時代の中で、自然との繋がりを失った狩猟民の「私」は、自分の分身とも言える牛と出会う。「私」は農民となって牛と共に大地を耕しながら、木、水、風、霧、土、火、万物とのつながりをただ静かに見つめ、刻み、還る——禪に伝わる「十牛図(じゅうぎゅうず)」から着想を得て、内なる宇宙と森羅万象をめぐる旅。	
プラハの春 不屈のラジオ報道 1/17(土)～1/30(金) 監督：イジー・マードル 出演：ヴォイチェフ・ヴォドホツキー スタニスラフ・マイエル	2024年/2時間11分			<休館日> 12月:22日(月)・23日(火)・31日(水) 1月(予定):1日(木)・13日(火)・19日(月)・26日(月)・27日(火) 2月(予定):2日(月)・9日(月)・10日(火)・16日(月)・24日(火)				《シネマ・トーラスからのお知らせ》 シネマトーラスでは来年度から毎週月曜と火曜を休館日とすることを検討しています。 尚、休館日が祭日になる場合は随時、事前にお知らせします。